

- ⑧ 細則の改正承認を評議員会から理事会に変更した。
- (2) 1999年12月：技術基準・認証委員会の設置。
- (3) 2000年4月：IIW国際溶接技術者のディプロマ制度の業務を実施するため、教育関係委員会にJ-ANB (Japanese Authorised National Body) を設置し、ディプロマの発行を始めた。
- (4) 2003年11月：溶接情報センター設立準備委員会 (現 溶接情報センター設置委員会) を設置し、情報センター構想の具現化を始めた。
- (5) 2007年3月：運営委員会を「総合企画会議」と改称し、委員の増強を図った。
- (6) 2007年10月：団体会員の定義を明確にした。日本国内で法人登記をしている、材料、機器、付帯装置、溶接構造物の製造等に関わる法人とした。
- (7) 2008年1月：支部制度を指定機関制度に移行。全国支部委員会を「全国指定機関委員会」と組織変更するとともに、地区ごとに活動をしている地区支部委員会を外部組織と位置付けた。なお、支部から指定機関への移行について移行期間を設け、2008年11月末日までに各組織からの申請により、移行をすることとした。
- (8) 2008年2月：専門部会の設置、廃止、名称変更。1953年に発足した「航空機部会」は環境の変化により、その活動を2003年から休会としていたが、その後活動再開の要望がなかったため廃止。貴金属ろう部会は構成員の変化により、「ろう部会」と名称変更。はんだ研究委員会は、はんだ材料メーカを主体とした専門部会組織、「はんだ・微細接合部会」に改組するとともに名称を変更した。

1.3 規則類

規則類は、定款および細則に基づいて設置された専門部会・委員会等の運営について具体的な事項を定めたもの、あるいは協会全体で法令に対応するために制定されたもので、現在、効力があるものは、76規則となっている。1999年から現在までに新しく制定されたものを列記すると次のとおりである。

- (1) 全国指定機関委員会規則、指定機関に関する規則 (2008年)
- (2) ろう部会規則 (2008年)
- (3) はんだ・微細接合部会規則 (2008年)
- (4) 技術基準・認証委員会規則 (2000年)
- (5) 発電設備用溶接技術検討委員会規則・発電設備用溶接評価委員会規則 (2000年)
- (6) 総合企画会議規則 (1999年)
- (7) 溶接情報センター設置委員会規則 (2003年)
- (8) 個人情報保護に関する規則 (2005年)

2

総会・評議員会・理事会

2.1 総 会

総会は、定款第23条に基づいて開催されるもので、通常総会と臨時総会の2種類があり、通常総会は毎年度開催されている。臨時総会は、1999年から現在までの間には開催されていない。

また、通常総会の附帯行事として、特別講演会、出席会員および関係者による懇親会を開催し、情

報交換を図っている。特別講演の演題と講演者は下記のとおり。

- 1999年：現代ハイテク技術について (鈴木輝雄)
- 2000年：ITの動向と人間社会の変革—その中で企業は…— (瀧田正人)
- 2001年：世界における日本の基盤産業の位置付

け—金型産業の現状—（黒田彰一）
 2002年：我国のメタンハイドレート開発について（野中美次郎）
 2003年：超高層ビルの耐震解析から米国世界貿易センタービル（WTC）の崩壊解析までの解析技術の発展について（福沢栄治）

2004年：豊かなる石油時代が終わる（石井吉徳）
 2005年：中国の心をつかんだ企業戦略（莫 邦富）
 2006年：日本経済のこれから（岩田年浩）
 2007年：金属粉による二酸化炭素の吸収・固定と水素の製造（江場宏美）
 2008年：ナノテクでセメント原料を有望な新素材にする方法（細野秀雄）

2.2 評議員会

評議員会も総会と同様に、毎年度開催している。ただし、理事会社の人事異動にともなう代表者の変更も多く、そのため理事の選任を行うための不

定期的な評議員会については書面審議によって議決を行っている。

2.3 理事会

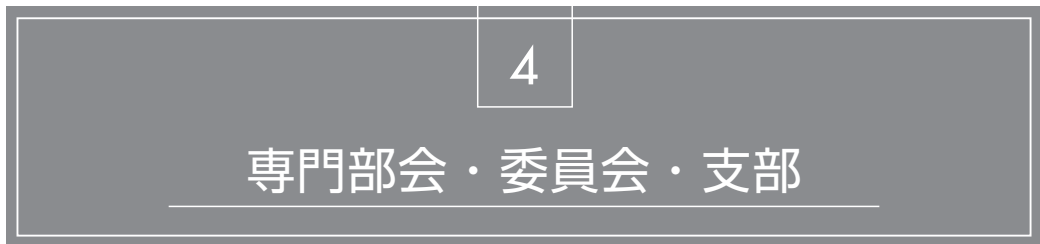
理事会は、原則として毎月開催しており、月次の決算、会務委員会、特別委員会、認証関係委員

会等の活動状況の報告を行い、総会で決定した事業計画の執行に必要な事項を決定している。



会員は、定款第2章に規定され、個人会員と団体会員の代表者を民法上の社員として規定している。2007年の定款改正により、団体会員は特級

から3級の4種に加え、4・5級を新設し、6種類の区分に分かれて入会している。会員数の変遷は、第12編「資料」11に示す。



4.1 専門部会

専門部会は、協会創立当初から重要な組織として設立されたもので、主として業種別に構成されている。横断技術の溶接界にあって、業界縦割り

的な運営を行い、その成果は各種産業分野に広く利用されている。各部会の変遷は第12編「資料」8に、活動の詳細は第3編に記載されているので